

請 願 文 書 表

<p>請願第8号 国民健康保険税の引き下げを求める請願 (令和8年6月1日受理)</p>	<p>厚生委員会付託</p>
<p>請 願 者 八王子市追分町6-14 フォーラムはちおうじ内 八王子社会保障推進協議会 事務局長 横山 敏郎 外1,747名</p>	
<p>紹介議員 望月 翔平 石井 宏和</p>	
<p>請願趣旨</p> <p>八王子市は2024年度まで7年連続して国民健康保険税（以下、国保税）を引き上げたため、多摩26市で最も高い国保税となってしまいました。2025年度は府中市や国立市の1.7倍もの負担になっています。その原因は、国が各自治体に国民健康保険会計への一般会計からの法定外繰入金をなくすよう求めていることに対して、八王子市が無批判に従っているためです。結果として国保税が引上げとなり、加入者に大きな負担を強いています。</p> <p>しかし、多くの自治体が住民の厳しい生活状況を考慮して、一般会計からの法定外繰入れを続け、値上げ見送りや引上げ幅の抑制努力をしています。町田市は6年間の法定外繰入金の削減目標額の26.6%しか削減していません。八王子市は国の求めどおりに6年間で削減目標額を達成しました。</p> <p>国保税の連続引上げにより、八王子市では40代夫婦で年収400万円、就学児2人の標準世帯で国保税の負担が58万円以上となり、収入の15%近くなるという異常な状況で加入者の生活を圧迫しています。</p> <p>八王子市では国保税加入者の61.5%が均等割の軽減を受けていますが、6割以上が軽減を受けざるを得ないほど八王子市では国保税の負担が重くなっているということです。</p> <p>全国市長会は令和7年6月の提言で、「国庫負担割合の引上げや、低所得者層に対する負担軽減策を拡充・強化するとともに、低所得者を多く抱える保険者への支援を強化すること」「こどもに係る均等割保険税を軽減する支援制度について、対象年齢や軽減割合を拡大するとともに、その財源については、国において措置すること」と述べています。</p> <p>そこで、以下についてお願いいたします。</p> <p>請願事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国の負担割合の引上げを強く求めるとともに、八王子市として独自に国民健康保険税を引き下げてください。 2. 国に対して均等割の廃止を求めるとともに、市独自の均等割軽減措置を行ってください。 	